

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：福祉政策課
 担当名：政策企画担当
 内線：3391

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S3	虐待通報等環境整備・啓発事業			一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	虐待通報等環境整備事業費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	埼玉県虐待禁止条例第12条、第13条		針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現		SDGsゴール 16
					分野施策	0704	人権の尊重		SDGsターゲット 16-1, 16-2, 16-b
1 事業概要	児童・高齢者・障害者の各虐待の通報等を行いやすい環境を整備するため、各虐待に24時間365日、一元的に対応する虐待通報ダイヤルを運用する。 また、虐待防止に関する県民への広報を行い、虐待の早期発見・早期対応につなげる。 ア 虐待通報ダイヤルの運用 △400千円 経費節減等により減額 イ 虐待の禁止及び虐待通報ダイヤルの広報 経費節減等により減額 △111千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 児童・高齢者・障害者の各虐待の通報等を行いやすい環境を整備するため、各虐待に24時間365日、一元的に対応する虐待通報ダイヤルを運用する。 イ 虐待はいかなる理由があっても許されるものではないという意識を県民全体で周知徹底するため、虐待禁止の啓発及び機運の醸成を図る必要がある。虐待禁止及び通報ダイヤルの広報を行い、虐待の早期発見・早期対応につなげる。 (2) 事業計画 ア 通報ダイヤルの運用 (ア) 平日日中：福祉政策課で対応 (イ) 夜間休日：外部委託業者が対応 イ 虐待防止の普及・啓発 (ア) チラシ、リーフレット等の配布 (イ) 通報ダイヤル等の広報 (3) 事業効果 通報ダイヤルの運用と虐待防止に関する県民への広報により、虐待の予防や早期発見・早期対応につなげることができる。 (4) 補正予算の概要 ア 虐待通報ダイヤルの運用経費節減に伴う減額 イ 虐待防止啓発リーフレット等の節減に伴う減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1人=9,500千円 3,200千円×1人=3,200千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△511							△511	49,115
現計額	49,626							49,626	

事業内訳書

事業名	虐待通報等環境整備・啓発事業		
単位事業名	虐待通報等環境整備・啓発事業	予算額	△ 511千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△511	—	
合計	△511	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△4	—	執行留保等による業者との連絡調整の減
需用費	△111	—	執行留保等によるリーフレット等印刷代の減
役務費	△396	—	執行留保等による通報ダイヤル通話料・回線使用料の減
合計	△511	—	